



つくばみらい市 議会だより



みらいのとびら

令和2年9月1日発行 第57号



商工会青年部の皆さん（昨年のみらいフェスタより）

Contents

- 特 集…………… P 2
- 一 般 質 問…………… P 9



つくばみらい市

商工会青年部

つくばみらい市 商工会青年部



市議会

Q はじめに皆さんの活動内容について、教えてください。

A 青年部 高橋さん

青年部では1年間の一番大きなイベントとしてみらいフェスタを中心に活動しています。また、地域のクリーン作戦を年に1回、その他に昨年までは、2月に小学生向けに「逃走中」というイベントを開催していました。

壮青年部 平田さん

壮青年部ではイベント的なものは主催していませんが、青年部のみらいフェスタや商工会の感謝祭など商工会全体のイベントのサポートをして

います。壮青年部自体の活動は事業の視察や講師の方をお呼びして勉強会を実施しています。



壮青年部視察研修

Q 青年部さんと壮青年部さんのメンバーは何人ほどいらっしゃるのですか。

A 青年部 高橋さん

青年部は61人ほどおります。

壮青年部 平田さん

壮青年部は現在19人が活動しています。壮青年部が商工会の中で青年部

や女性部と同じような正式な組織になつたのが2年前でまだ新しく、青年部の経験者も多いです。

Q 市民の皆さんもよくご存じのみらいフェスタの準備は、大変と伺っていますが、苦労などはありますか。

A 青年部 高橋さん

毎回準備は大変で苦労も多いのかもしれませんが、終わってみると達成感のほうが大きくて皆楽しみながらやっていると思います。イベントが終わると11月、12月くらいから来年のイベントに向けて動き出しています。



青年部 高橋 正樹 さん

Q 開催する場所の確保も毎回大変ですよね。

A 青年部 高橋さん

一昨年からは運動公園で開催していますが、その前はみらい平地区で空いている場所を探して開催していました。これからは運動公園で固定して開催を定着させていきたいです。

Q イベント等を通じて市民の皆さんに
こういうことを知っていただきたい
ですか。

A 青年部 高橋さん

みらいフェスタはもともと伊奈の祭りから始まっていますが、自分達がつくばみらい市で商売をさせていた

だいている感謝の気持ちで開催しています。

子どもたちをメインに実施していますが、自分達の感謝の気持ちを市民の皆さんに伝えたくて毎回頑張っています。

商工会青年部で主催していますので、商工会のことを皆さんにもっと知っていただければと思います。

Q 皆さんの活動を通じて本市で事業を
される方々をどのように応援してい
こうとお考えですか。

A 壮青年部 平田さん

青年部さんでは活動を通じて、自分たちの利益だけでなく地域に貢献する、感謝するという目的もあります。壮青年部では企業人としてどのようにしっかりと事業を営んでいるかについてより重点的に取り組んでいます。

今回のコロナ禍のなか、各地で事業が大変なところもありますが、それでも業績を伸ばしているところもあります。そういう事業の強みを

見つけて成功に結び付けられるように活動しています。青年部時代で築いた絆とは、また違った面から本業にスポットをあてて、周りの環境に関係なく強いビジネスモデルを作って成功させることに力を入れています。それをやっていかないと今後生き残っていきませんから。

青年部 高橋さん

青年部や壮青年部のモットーを皆さんにご理解いただいて、もっと興味を持っていただければと思います。これをきっかけに商工会に入っているだけでも嬉しいです。

壮青年部 平田さん

皆さんに商工会に相談に行けば、何とかなると思っただけのような組織にしていきたいです。

本日はお忙しい中、取材にご協力いただきましてありがとうございます。

(取材者 鐘ヶ江礼生奈 守谷智明)



壮青年部 平田 祐司 さん

令和二年第二回定例会初日冒頭に、議会からメッセージを発出しましたので、内容を記載します。

謝意（議会からのメッセージ）

新型コロナウイルス感染症に関しまして、緊急事態宣言は解除されましたが、第二波、第三波の脅威は残っております。

まずは、感染リスクのある中で、医療現場の皆様方には、検査や治療などに大変ご尽力いただきますことに、心から感謝申し上げます。

また、市民の皆様におかれましても、新しい生活様式を心がけ、感染防止に努められますよう、お願いいたします。

さて、国の緊急な施策により、特別定額給付金の給付に際し市の任務として市民に対して一律十萬円の給付作業をする事になりました。

つくばみらい市では、オンライン申請については五月一日から受け付けを開始し、五月八日から送金をはじめ、また、郵送分については、五月十二日より申請書の送付を行い、五月十五日から送金をはじめたと、非常に速い対応をしていただきました。

五月三〇日 読売新聞に掲載された、茨城県のまとめによる「特別定額給付金の給付状況等に関する調査票」によると、つくばみらい市は、給付済み世帯数が七四・七パーセントで県南一〇市では群を抜いて高い数値であります。これらは、日々対応される職

員の方々はもちろんのこと、五月二十三日の土曜日には、職員有志百人を超える方々が、給付作業を行ったと聞き及んでおります。

このような事により、スムーズな運用を行ったことについては、新型コロナウイルスによって経済的に困窮する市民のために、昼夜を惜しまず粉骨砕身事務作業にあたった職員各位、関係者の皆さんに、改めて議会から最大の謝意を伝えます。

基礎自治体がそれぞれの市民のために速やかで円滑な事務作業を目指してりましたが、準備等のため、多くの自治体が五月後半から六月上旬の手続き開始などの情報が寄せられておりました。また、オンライン申請についても当初不具合が言われ、大変な作業であった事は想像に難くありません。その中であって、当市の対応は高く評価させていただきます。

また、医療機関や保育所・幼稚園、妊婦、高齢者などにいち早くマスクを配布するなど、感染防止にも配慮いただきました。これからも、市民のために職務にあたっていただくことを希求します。

我々市議会としても、市と連携しながら新型コロナウイルスの脅威が消えるその日まで、議員十八名が心を一つにして感染拡大防止に取り組んでまいりたいと思えます。

令和二年六月二十九日

つくばみらい市議会

つくばみらい市の こんなことが決まりました

第3回臨時会 5月15日 (1日)

第2回定例会 6月29日～7月15日
(17日間)

議案審議

●第3回臨時会で審査した案件

市長提出案件

10件

議員提出案件

1件

計11件

●第2回定例会で審査した案件

市長提出案件

24件

議員提出案件

1件

請願

1件

計26件



Pick up 1

発議第4号
新型コロナウイルス感染症対策に関する決議

「新型コロナウイルス感染症対策に関する決議」を全会一致で可決しました

つくばみらい市議会は、令和2年第3回臨時会において、「新型コロナウイルス感染症対策に関する決議」を全会一致で可決し、決議書を小田川浩市長に提出しました。また、市議会としても市と連携・協力し、感染防止対策及び経済対策に全力を挙げて取り組む決意を表明しました。



要望項目は

- ▽市内事業者及び各家庭に対する更なる市独自の支援策の検討
- ▽医療従事者への支援
- ▽DVや虐待・自殺などの防止対策に向けて生活困窮者等への支援策強化及び市民の不安を払拭する迅速な対応
- ▽学校におけるICTの活用などによる児童生徒の学力低下と学力格差の防止、心と体のケア及び進路相談の充実
- ▽市が主催するイベントの方向性を早めに示し、主催者等の不安の払拭

Pick up2

**市議会において議会災害等対策会議
及び新型インフルエンザ等対策会議
を設置**

つくばみらい市議会では、市内で大規模災害等や新型インフルエンザ等が発生した場合に議会ではどのような取組を行っていくべきか検討を重ね、つくばみらい市議会災害等対策会議設置要綱及びつくばみらい市議会における新型インフルエンザ等対策会議設置要綱を策定し、令和2年6月23日に公布しました。

これらの要綱により、市の災害対策本部と議会が連携し、災害対策活動を支援してまいります。

Pick up3

人事紹介について

諮問第1号
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の任期が令和2年9月30日に満了することに
伴い意見を求められ、次の方を適任と認めました。

秋田 政夫 (再任)

Pick up4

**児童扶養手当事業や小学校管理事
業及び中学校管理事業などを増額**

議案第51号
令和2年度つくばみらい市一般会計補正予算(第4号)

第2回定例会での一般会計補正予算は、歳入歳出とも3億3462万5000円を増額するもので、歳出の主なもの、新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に対し、子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給するための経費として児童扶養手当事業に4068万4000円、災害時に開設する避難所内において、新型コロナウイルス感染症対策をさらに拡充するため、エアベット等を購入するための経費として非常備蓄品整備管理事業に615万8000円、中学校の高速通信環境及び児童生徒1人1台端末を整備するギガスクール構想の実現に向け、校内通信ネットワークの整備費及びタブレット端末を整備するなどの経費として、小学校管理事業及び中学校管理事業に合わせて2億4242万5000円などです。

令和2年第3回臨時会 議決一覧表

| 議案番号 | 議案名 | 結果 |
|----------|---|------|
| 承認第 1 号 | 専決処分の承認を求めることについて (第1号) | 承認 |
| 承認第 2 号 | 専決処分の承認を求めることについて (第2号) | 承認 |
| 承認第 3 号 | 専決処分の承認を求めることについて (第3号) | 承認 |
| 承認第 4 号 | 専決処分の承認を求めることについて (第4号) | 承認 |
| 承認第 5 号 | 専決処分の承認を求めることについて (第5号) | 承認 |
| 議案第 35 号 | つくばみらい市国民健康保険条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 36 号 | つくばみらい市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 37 号 | つくばみらい市奨学金貸付条例及びつくばみらい市高等学校等奨学金条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 38 号 | 令和2年度つくばみらい市一般会計補正予算 (第2号) | 原案可決 |
| 議案第 39 号 | 令和2年度つくばみらい市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) | 原案可決 |
| 発議第 4 号 | 新型コロナウイルス感染症対策に関する決議 | 原案可決 |

令和2年第2回定例会 議決一覧表

| 議案番号 | 議案名 | 結果 |
|----------|---|------|
| 報告第 3 号 | 専決処分の報告について (第3号) | 報告 |
| 報告第 4 号 | 令和元年度つくばみらい市一般会計繰越明許費繰越計算書について | 報告 |
| 報告第 5 号 | 令和元年度つくばみらい市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について | 報告 |
| 報告第 6 号 | 令和元年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について | 報告 |
| 報告第 7 号 | 令和元年度つくばみらい市水道事業会計予算繰越計算書について | 報告 |
| 報告第 8 号 | 令和元年度つくばみらい市一般会計事故繰越し繰越計算書について | 報告 |
| 報告第 9 号 | 令和元年度つくばみらい市一般会計継続費繰越計算書について | 報告 |
| 報告第 10 号 | 令和元年度つくばみらい市介護保険特別会計継続費繰越計算書について | 報告 |
| 報告第 11 号 | 令和元年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計継続費繰越計算書について | 報告 |
| 承認第 6 号 | 専決処分の承認を求めることについて (第6号) | 承認 |
| 承認第 7 号 | 専決処分の承認を求めることについて (第7号) | 承認 |
| 諮問第 1 号 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて | 適任 |
| 議案第 40 号 | 審議会等の附属機関における委員の構成の適正化を図るための関係条例の整備に関する条例 | 原案可決 |
| 議案第 41 号 | つくばみらい市税条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |

| 議案番号 | 議案名 | 結果 |
|----------|---|------|
| 議案第 42 号 | つくばみらい市都市計画税条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 43 号 | つくばみらい市手数料条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 44 号 | つくばみらい市介護保険条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 45 号 | つくばみらい市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 46 号 | つくばみらい市立学校条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 47 号 | つくばみらい市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第 48 号 | 工事請負契約の締結について | 原案可決 |
| 議案第 49 号 | 守谷市による路線認定の承諾について | 原案可決 |
| 議案第 50 号 | 市道路線の変更について | 原案可決 |
| 議案第 51 号 | 令和 2 年度つくばみらい市一般会計補正予算（第 4 号） | 原案可決 |
| 発議第 5 号 | つくばみらい市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |

| 番号 | 請願・陳情名 | 結果 |
|---------|---|-----|
| 請願第 1 号 | 国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願 | 不採択 |

議案質疑

第 2 回定例会

議案第 48 号……………

工事請負契約の締結
について

【質疑者】

古川よし枝議員

討論

請願第 1 号……………

国に対し、「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める請願

【賛成討論】

間宮美知子議員

本会議や委員会に出席した議員に支払われる管内費用弁償（日額 1000 円）を廃止しました

令和 2 年 6 月 29 日開会した、つくばみらい市議会の定例会に、本会議や委員会に出席した議員に支払われる管内費用弁償（日額 1000 円）を廃止する条例改正案が議員発議により提案され、全会一致で可決し、令和 2 年 7 月 1 日から管内費用弁償を廃止しました。



聴^ききたい 知^しりたい 市政

一般質問 (要旨)

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？
質問は、議員本人が概ね2000字を目安に要約しています。

質問議員12人

質問24項目



危機管理について

●横田透議員

新型コロナウイルス対策について、何を判断基準として、どのような判断を下してきたのか。今までの対応の総括とともに、今後、

市民の生命を脅かす事態、新型コロナウイルスをはじめ、大規模風水害、地震等が発生した場合における危機管理の基本方針を伺う。また、危機管理を進めていく上で、業務継続計画もポイントになる。策定に当たっては、新型コロナウイルス感染症も踏まえていく必要があるが、市ではどのように考えているか。

●市長

新型コロナウイルス感染症については、本市の新型インフルエンザ等対策行動計画や国から示される新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針、県が発表する

対策指針に基づいて、発生段階に応じた対策を行った。

危機管理の基本的な考え方は、市内に起こり得る災害を想定し、市民の生命及び生活を第一に考えている。今後は、国土強靱化地域計画、業務継続計画の策定、地域防災計画の見直しなどを行い、各計画に基づいた施策や訓練などを通し、安全で安心して暮らせるまちづくりに努めてまいりたい。

●総務部長

業務継続計画については、地震、風水害等の自然災害に加え、感染症を考慮した業務継続計画の策定に向け、全庁を挙げて取り組んでまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆義務教育施設の適正配置計画の進め方について



横田 透

本市における市政運営の課題について



直井 高宏

●直井高宏議員

自治体の公共サービスは多様性や複雑性の高まる中で、適宜適切な対応が強く求められている。そこで、本市における財政力強化を目的とした産業振興、企業誘致、新たな企業誘致の受皿として第2

期福岡工業地域、ワープステーション周辺の開発計画、高齢化地域対策と高齢者の福祉、介護対策、職員的能力開発と意識改革による行政サービスの質の向上、住民との協働による安心・安全な地域コミュニティづくりについて市の考えを伺う。

●市民経済部長

産業振興については、産業を支える人を育成し、次世代につなぎ、地域産業の活性化を図ることが重要である。

●都市建設部長

企業誘致については、福岡工業団地南側区域を新たな工業系土地

利用を図れるエリアとして、事業化を推進していきたい。

ワープステーション江戸を核とした周辺開発については、映像関連産業誘致に向けた事業化を図れるよう検討していきたい。

●保健福祉部長

今後の高齢者の福祉、介護対策等については、来年度からの第8期高齢者福祉計画において、地域課題やニーズを把握し、取り組んでまいりたい。

●総務部長

職員育成については、職員の基礎能力を高める研修等を実施し、市民サービスの向上を図りたい。

●市長公室長

市民協働については、市民、団体、行政などが一緒になり、多様な市民協働への契機づくりを推進していきたい。

市管轄の太陽光発電施設の利用状況について



中山 治

●中山治議員

太陽光発電は、自然エネルギーを利用しての地球温暖化防止や余剰電力の経済効果が見込まれる。伊奈東小と伊奈東中の太陽光発電が故障と伺っているが、その設置費用は税金である。市で管理する太陽光発電設備のある公共施設件数、設置工事費と利用状況を伺う。さらに、リコールを含めメーカー保証などの運用管理体制に問題は無かったか、発電パネルは、常に発電し続けており危険、ICT構想では電力不足が予想され修理改善を強く要望する。

●総務部長

市内の太陽光発電設備のある公共施設は全11施設である。設置工事費は、伊奈庁舎が約2948万円、保健福祉センターが約2236万円、みらい平コミュニティセンターが約2575万円、小絹水処理センターが約1822万円、伊奈東小学校が約

2436万円、谷原小学校が約1428万円、小絹小学校が約1501万円、陽光台小学校が約3869万円、富士見ヶ丘小学校が約1545万円、伊奈東中学校が約1499万円、小絹中学校が約1428万円である。各施設の利用状況だが、伊奈庁舎は、ほとんどが自己消費電力として使用し余剰分は売電している。それ以外の施設は、自己消費電力として使用しているが、現在、陽光台小学校及び富士見ヶ丘小学校以外の5校については、発電設備の故障により停止している。

●教育部長

故障した設備の修繕については、修繕後の売電収入や故障するリスク等を考え、慎重な対応を検討する必要がある。

(掲載以外の質問事項)

☆太陽光発電メガソーラーの設置について

新型コロナウイルス感染症防止対策による市民の暮らし、営業支援について



古川 よし枝

●古川よし枝議員

コロナ禍で雇用調整助成金制度、持続化給付金制度、緊急小口融資制度、事業者への融資支援及び市税納入の猶予申請者数を見ると、コロナウイルス感染防止対策などで収入が減り、市民の暮らしが困窮していると言える。

国や県の救済制度にどこかない事業者もあり、さらなる生活支援が必要である。そこで、水道料金の負担軽減、国民健康保険税の引下げ、高校・大学生などへの給付型奨学金制度の導入を求めるがどうか。

●都市建設部長

水道料金のうち基本料金の全額を免除した場合、1か月当たり約2300万円の減収となるが、市民に対する経済支援の一つとして、実施が可能な検討を続けてきたところである。財政状況なども踏まえ、今後も引き続き検討してまいりたい。

●保健福祉部長

国民健康保険税については、今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、一定程度まで収入の減少が見込まれる場合等における国民健康保険税の減免を行うことを予定している。

●教育部長

奨学金の貸付け制度を実施しており、貸与額は、高校生等が月額2万円、大学生等が月額3万円、返済は無利子にしている。また、今年度に限り、奨学金の貸付け対象を拡大し支援している。給付型による支援については、現時点では現行の制度による支援に努めてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆義務教育施設適正配置計画策定について

☆コロナ禍における通学時のマスク着用による熱中症から子どもを守るために

GIGAスクール構想について



小林 芳子

●小林芳子議員

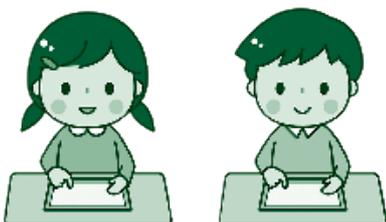
学校におけるICT教育は、本来、地理的、経済的な学習環境の格差を乗り越え、長期入院の子どもの学習や臨時休校時のオンライン学習も可能で、教育の平等をもたらすものと考えられる。本市でも1人1台端末や学校ネットワーク環境の全体整備を早急に行って頂きたい。また、支援を必要とする子どもたちの為の入出力支援装置の導入、ICT支援員の設置、教職員のパソコンのバージョンアップも必要と考えるが、市の考えを伺う。

国では令和5年度までに、児童生徒1人1台端末の整備を掲げていたが、新型コロナウイルス感染症への対策として、端末整備の補助事業が、今年度に前倒しとなった。市では、この補助事業を活用

●教育部長

し、小中学校の校内通信ネットワークの整備と児童生徒1人1台タブレット端末整備を実施していく。障がいのある児童生徒が使用する入出力支援装置の導入については、今後、必要に応じて整備していく。

ICT支援員の配置についても、学校における教育の情報化を進めていく中で、教職員へのICT教育の支援も必要であると考え、今後の授業でのタブレット活用方法や必要な支援の内容なども踏まえ、た上で、検討していく。



新型コロナウイルス感染症に対応した避難所の受入れ体制について



岡本 昌弘

●岡本昌弘議員

新型コロナウイルス拡大の第2波が懸念される中、豪雨災害など自然災害が発生した場合、従来の避難所はウィルスが拡大しやすい密集、密接、密閉の「3密」の条件が揃っている。そのため、指定した指定避難所以外にも、分散型避難や新たな施設の活用を予定しなければ収容人数を超えた3密の避難所になるなど、安心して避難は行えない。

現在、市の指定避難所は、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所受入れ体制ができていますか伺う。

●総務部長

避難所を開設する場合の感染症対策として、避難所受付での検温実施に向けた非接触型体温計、飛沫感染のリスク低減を図るための段ボールパーテーションなどを既

に購入している。また、新型コロナウイルス

感染症に対応できる避難所運営の指針が確立されるまでには、現場での検証を行うなど、時間がかかるものと考えている。

そのため、避難所に人が集中することで感染のリスクが高くなるのを避けることを目的に、ホテルや友人、親戚宅などに避難をする、分散避難の働きかけを行っていく。

今後は、国などから示されている指針などを参考に、必要な備蓄品の拡充、避難所運営体制の構築など、災害時における感染症対策を進めてまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆避難所の備蓄品について

☆就学前の発達障がい児の支援について

☆就学前の4・5歳児検診又は5

歳児検診の実施について

本市における今後の水道事業の在り方について



守谷 智明

●守谷智明議員

現在、各自治体でインフラ老朽化による財政収支悪化がみられるが、本市では基本指針策定等が予定されており、本市の上下水道事業について、今後の在り方について伺う。

施設更新状況について、管路経年化率や管路更新率、施設老朽化対策、長寿命化などどのようになっているのか。また、策定予定の水道ビジョン等の基本的な考え方、持続可能な水道事業の展開において、水道料金の適正性や実現可能なコスト削減方法等について伺う。

●都市建設部長

管路経年化率は、9・34%で全国平均より低い数値であり、管路更新率は、0・85%で全国平均より更新は進んでいる。今後も施設老朽化が進む中で、コスト縮減

や長寿命化などにより効率的・持続的に更新事業を進めていく。

水道ビジョンについては、今後の人口減少や施設設備の老朽化など水道を取り巻く環境の大きな変化や様々な課題への対応の方向性、実現可能な方策を検討し、策定する。

水道料金については、水道事業の健全な運営を確保できるように、収支の状況を見極め、適切な時期に水道事業審議会において諮問を行い、審議していく予定である。

コスト縮減については、施設運営・管理の統一化など、先行事例を参考に調査研究をしていく。



災害に備える街づくりについて



今川 英明

●今川英明議員

自然災害に備えるため、地域では自主防災組織の充実や住民の自発的な防災活動の促進を図ることが重要と考える。現在の自主防災組織の結成数と、自主防災組織結成に繋がる今後の取組について伺う。

また、私の寺畑地区には、四ヶ字入排水機場がある。台風等で雨水が多く降った場合、強制排水をしないと地域に被害が出てしまうため、排水機の増強を求める請願が過去に採択されているが、今までの対応と今後の対応について伺う。

●総務部長

自主防災組織については、地域住民が自分たちの地域を自分たちで守るために自主的に形成する組織であり、自助・共助の観点からも自主防災組織の存在は重要であ

る。現在、自主防災組織の結成数は37組織あり、今後の結成に向けた取組としては、浸水想定区域を対象にマイ・タイムライン作成を含めた出前講座を行っていく。

●都市建設部長

四ヶ字入排水機場については、非常時の対策として、仮設用ポンプの設置により対応してまいりたい。昨年度は、大雨が予想される場合に仮設用の水中ポンプと発電機を借上げ、緊急対応の準備を行った。今後も、非常時に排水作業が早急に行える体制づくりを検討し、想定を超える豪雨には、国土交通省と連携を図り対応してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆新型コロナウイルス感染症対策について

政府が推奨しているGIGAスクール構想の実現について



中村 豊

●中村豊議員

児童生徒1人1台学習用コンピュータが整備されるならば最大限に有効活用すべきである。そのために、指導者用コンピュータを教師1人1台、大型提示装置・実物投影機を各教室1台、統合型公務支援システムを100%整備、ICT支援員4校に1人配置、学習用ソフト等を整備する「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018年～2022年)」を早期に実現させるべきと考えるが、市としての考えを伺う。

テレビやディスプレイなどは各学校に必要な台数は整備されている。統合型公務支援システムについても、教職員の校務における業務負担の軽減を図るため、現在、9月の利用開始に向け整備を進めている。

市としては、校内通信ネットワークと1人1台タブレット端末の整備を早期に進め、併せて基本的なソフトを同時に整備していく。その他の整備については、学校側と協議しながら、学習に必要なソフト等の整備を進めてまいりたい。

●教育部長

今回の児童生徒1人1台タブレット端末整備の中に教師用タブレット端末の整備も含まれており、授業を担当する教師一人ひとりがタブレット端末を使つての授業が可能となる。

大型提示装置については、大型

(掲載以外の質問事項)

☆通学路の整備と通学への支援等について



持続可能な行財政運営について



中山 栄一

●中山栄一議員

厳しい財政状況下ではあるが、財政調整基金の積み増しは重要であり、そのためには自主財源の確保策、そして、行財政改革が求められている。行財政改革を進めるには、施策評価、事務事業評価制度を確立し、制度の具体的な運用より、事務事業のスクラップアンドビルドを進めることが必要である。

さらにアウトソーシングを取り入れ、民間活力、民間発想の導入も欠かせない。今後の持続可能な行財政運営に向けて改めて考え方を伺う。

●総務部長

財政調整基金の積み増しについては、引き続き新たな財源の確保や歳出の抑制を図り、基金積立ての財源の捻出に努めてまいりたい。

●市長公室長

事務事業評価及び施策評価の運用については、評価制度により得られた成果を行革プランに反映し、財政、人事部門での活用を図っており、評価制度で検証された各事業の効果や成果を経営的視点による見直し等を行っている。

●市長

持続可能な財政運営を維持していくためには、国県補助金や独立行政法人等の助成金を活用するなど財源の確保に努め、事務事業を総合的な見地で検証し、歳出の抑制に努めていくことが重要だと考えている。また、地域経済の活性化を図ることが重要であり、企業誘致を図ることが更なる雇用の創出につながるかと考えている。

就職氷河期世代と今回のコロナ禍で失業した若者たちへの支援について



問宮 美知子

●問宮美知子議員

自分が当事者であったので、息子の引きこもらざるを得なかった辛さ、親としての苦しみが良くわかる。本市での引きこもり支援への取組について伺う。また、強い辛さを抱えている人については、「伴走型の支援」も考えてほしい。

今回のコロナ禍で失業した40歳前後の非正規であった若者たちは、困難な再就職活動を迫られている。市の職員採用に当たって就職氷河期世代・コロナ禍で失業した者に限定した枠の職員採用は行えないか、市の考えを伺う。

●保健福祉部長

取組状況については、精神保健福祉士が行う心の健康相談や、若者の就職及び社会的自立を支援する関係機関と連携しながら対応している。また、就職氷河期世代等の就労や生活に関する相談を受け、早期に就労が可能な状態の方には、

ハローワークと連携し、就職氷河期世代限定の求人を含めた案内、巡回相談やハローワークへの同行の支援を行っている。

●総務部長

職員採用試験における年齢要件については、年齢要件を45歳までとし、就職氷河期世代といわれる年代の世代も含まれた形での採用試験を行い、幅広い世代の方に対する受験機会の確保に努めている。今後、就職氷河期世代、新型コロナウイルス感染症の影響により内定を取り消された方などにも配慮しながら、職員採用を行ってまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆教職員の働き方改革と一年単位の变形労働時間制の導入について

☆PCR検査や抗体検査を受けられる体制づくりを

災害時の避難対応について



鐘ヶ江 礼生奈

● 鐘ヶ江礼生奈議員

コロナ禍における避難所対応について、学校の教室等を利用することで、発熱者などへ臨時対応はできるのか。また、3密を避ける

為の分散避難者（在宅及び車中泊等）への支援体制として、車中泊専用避難場所の確保や、自主防災組織の育成支援も必要かと考える

がいかがか。最後に、避難所の停電に備えた非常用電源や猛暑を想定した冷房等の設備状況及び国土強靱化計画策定段階での重点施策について伺う。

● 総務部長

学校教室等を臨時の避難所として使用することは、学校再開等の問題や課題が多く、一番近い避難所に避難されることを想定し、感染症対策を進めている。

車中泊用の避難所については、

既存の避難所の駐車場等であれば、給水や食事提供も可能と考えている。

自主防災組織等が独自に避難した場合の物資の供給等や結成促進のための財政的な資金については、検討を進めたい。

現在、冷暖房設備が設置されている避難所は、きらくやまふれあいの丘及び各コミュニティセンターの5か所であり、その他、避難所での熱中症対策として、発電機やスポットクーラー等での対応を想定している。また、避難所に非常用電源等を備えることについては、国土強靱化地域計画策定の過程の中で検討してまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

☆消防団の充実について

永年勤続議員表彰

この度、次の議員に全国市議会議長会及び茨城県市議会議長会より、地方自治の伸張発展と市政の向上振興に貢献した功績に対し、表彰状及び感謝状が授与されました。

● 全国市議会議長会

《表彰状》

- 直井 誠巳 （議員在職15年以上）
- 中山 栄一 （議員在職15年以上）
- 高木 寛房 （議員在職15年以上）

● 茨城県市議会議長会

《表彰状》

- 直井 誠巳 （議員在職15年以上）
- 中山 栄一 （議員在職15年以上）
- 高木 寛房 （議員在職15年以上）
- 鐘ヶ江礼生奈（議員在職8年以上）

《感謝状》

染谷 礼子



左から、鐘ヶ江礼生奈議員、直井誠巳議員、伊藤正実議長、中山栄一議員、高木寛房議員、染谷礼子議員

令和2年 第3回定例会

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-------------|-------------------|-------------|-------------------|---------------|----|
| 8/23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | 本会議 (開会) | 休会 | 休会 | | 本会議 (一般質問) | 休会 |
| 30 | 31 | 9/1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 休会 | 本会議 | 補正予算 特別 委員会 | 総務常任 委員会 | 教育民生 常任 委員会 | 経済常任 委員会 | 休会 |
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 休会 | 休会 | 決算特別委員会 | | | 休会 | 休会 |
| 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 休会 | 休会 | 本会議 (閉会) | | | | |

※日程等については、変更になる場合があります。なお、会期日程は、議会運営委員会（通常は開会日の7日前に開催）で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

◆ 音声による議会だより ◆

ホームページより音声による議会だよりの配信を行っています。音声は、ボランティア団体『朗読グループかたくり』のご協力で音声訳を作成しています。

また、社会福祉協議会を窓口にも目の不自由な方々を対象に、無料でCDの貸し出しをしています。ぜひ、お聴きください。

◆ 議会TV放映中 ◆

議会開会中、伊奈庁舎及び谷和原庁舎のロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。どうぞ、ご視聴ください。

◆ 会議録の公開について ◆

会議の会議録は、市ホームページ、市立図書館、議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から概ね3か月後となります。

◆ インターネット録画中継配信中 ◆

つくばみらい市議会では、「市民に身近な、開かれた議会」を目指し、ホームページより録画中継の配信を行っています。それぞれの映像の掲載期間は1年となります。どうぞ、ご覧ください。

ご意見ご感想を お寄せください！

「議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。



つくばみらい市
イメージキャラクター
「みらいりんぞう」

◆ 市議会の傍聴について ◆

議会は、特別な場合を除き、誰でも傍聴することができます。

傍聴は、先着順で受付票に住所、氏名、年齢を記入していただくことで、傍聴席に入場できますが、現在のコロナ禍により、傍聴席の間隔をあけておりますので、席に限りがございます。

また、感染症予防対策にご協力ください。

■第3回臨時会 傍聴者数 1人
■第2回定例会 傍聴者数 37人



詳細は議会事務局にお問い合わせ願います。

● 新型コロナウイルス感染症対策 のお願い ●

本会議・委員会を傍聴される際には、感染症の拡大防止のため、次のとおりご協力をお願いします。

1. マスクを着用してください。
(マスクはご自身でご用意願います。)
2. 傍聴席の出入口にある消毒液で手指を消毒してください。
3. 当日の朝に検温し、高熱のある場合や、体調不良（だるい・咳が出るなど）の場合は傍聴を自粛願います。



発行：つくばみらい市議会 編集：議会広報特別委員会

〒300-2492 つくばみらい市加藤237番地 TEL：0297-58-2111(代表) FAX：0297-20-5760
URL：http://www.city.tsukubamirai.lg.jp E-mail：gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp